

Pair Letter

ペアレター

手術支援ロボット「ダヴィンチ」始動

■外科

結腸の悪性腫瘍切除を手術支援ロボットで

■中央手術室

手術をサポートする看護師

■新しい新生児救急車に入れ変わりました



—外科の皆さん—

外来診療一覧 (R5.4.1 現在)

詳細はホームページの各診療科の案内をご覧ください

	診療科名	外来表(一般外来及び予約専門外来)	備考	
内科系	内科	腎臓外来	一般外来	火・木曜日休診
		糖尿病・代謝・内分泌	一般外来	
		リウマチ・アレルギー	一般外来	
	循環器内科	一般外来/ペースメーカー外来		
	呼吸器内科	一般外来		
	消化器内科	一般外来		
	脳神経内科 (予約制)	一般外来		
	血液内科	一般外来		
	緩和ケア科 (予約制)	診察は外来主治医と相談		
	総合診療科	一般外来		
外科系	皮膚科 (完全紹介予約制)	一般外来		
	化学療法内科 (予約制)	診察は外来主治医と相談		
	外科・消化器外科・乳腺外科	一般外来		
	呼吸器外科	一般外来	火曜日休診	
	心血管外科 (予約制)	一般外来		
	脳神経外科	一般外来		
	整形外科 (完全紹介予約制)	一般外来/小児整形/成人股・膝・肩・肘関節・手/側弯症/リウマチ		
	形成外科 (予約制)	一般外来	水曜日休診	
	眼科 (完全紹介予約制)	一般外来	火曜日休診・木曜日午後休診	
	耳鼻いんこう科 (完全紹介予約制)	一般外来		
小児	泌尿器科	一般外来		
	産婦人科 (完全紹介予約制)	一般外来/妊婦健診/不妊外来		
	歯科口腔外科 (完全紹介予約制)	一般外来	月曜日手術日のため院内対応のみ	
	小児科	一般外来/小児神経/腎臓/アレルギー/呼吸器/血液/循環器/感染/内分泌		
	小児外科 (月曜午後予約再来のみ)	一般外来	月曜日午前休診、水・金曜日休診	
その他	小児脳神経外科	一般外来	月・水・木曜日休診	
	小児心血管外科	一般外来		
	新生児科 (予約制)	一般外来/シナジス外来	月曜日午後・火曜日休診	
特別外来	放射線治療科 (予約制)	一般外来	水曜日午後休診(水曜日午前、木曜日再来のみ)	
	救急科(再来) (予約制)	再来患者 11:00 ~ 12:00		
	精神科	現在休診中		
	女性特別外来 (予約制)	一般外来	木曜日以外は休診	
	禁煙外来	総合診療科外来へ		
その他	セカンドオピニオン外来 (予約制)	一般外来		
	母乳外来 (予約制)	産婦人科外来へ		
	ストーマ外来 (予約制)	人工肛門/人工膀胱(外科・泌尿器科外来または外来主治医と相談)		

松戸市立総合医療センター Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1
TEL 047-712-2511(代) FAX 047-712-2512(代)

【診療】 月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始は休診)

【受付時間】 初診：午前8時30分～午前11時
再診：午前8時～午前11時

【完全紹介予約制】は、地域の医療機関からの紹介状と事前の受診予約が必要です。

【予約制】は、事前の受診予約が必要です。(6ページを参照)



総合医療センター
QRコード

交通アクセス：有料駐車場有(491台) 松戸駅・北松戸駅から新京成バス
馬橋駅・北松戸駅からゆめいろバス、新京成八柱駅からシャトルバス



「ダヴィンチ」始動

侵襲のより少ない手術を実現



ロボット支援下手術とは

お腹にいくつかの小さな穴を開け、そこに内視鏡を挿入してお腹の中を観察しながら、別の穴から挿入した細長い手術器具（鉗子）を外科医が操作する腹腔鏡下手術が登場し、それ以前に行われていた開腹手術に伴う「体壁の破壊」という大きな負担を軽減できるようになりました。一方、腹腔鏡下手術で用いる直線状の鉗子の動きは、穴の位置に規定されて制限されるのが弱点でした。

ロボット支援下手術は、外科医がロボットアームに取り付けられた多関節機能を備えた鉗子を遠隔操作して行う腹腔鏡下手術で、現在はそのほとんどが米国で開発された手術支援ロボット「ダヴィンチ」によって行われております。近年、保険で承認されたロボット支援下手術の術式が増加しており、ダヴィンチは多くの病院で導入されるようになってきました。

ダヴィンチの特徴

ダヴィンチは、なんとと言っても「体内で鉗子を外科医の手のように器用に動かすことが出来る」のが特徴です。

開腹手術ではお腹の中に大きな手を入れて手術器具を操作しますが、ダヴィンチでは手のように器用に動く細く小さな鉗子が手術操作を行うので可動域が広がり、骨盤の中などの狭いトンネルのような場所でも、ターゲットとしている部位に直接アプローチすることが出来ます。また、執刀医の手先の震えが伝わらないよう手ふれ防止機能が備わっています。

小さな鉗子を三次元画像で観察しながら操作することで奥行きを読み取りながら繊細で緻密な手術操作を行うことが可能となり、結果として出血が少なく、患者さんの身体により優しい手術ができるようになりました。

合併症が少なく、早期の退院が可能に

ダヴィンチによる手術では開腹手術と比較して傷口が小さく出血が抑えられ、通常の腹腔鏡手術と比較しても合併症を減少させられると見込まれます。

また、術後の回復が早いいため、早期退院や早期社会復帰につながり、患者さんにとっても多くのメリットがあります。



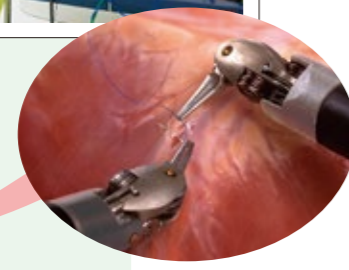
コントローラーを動かすと、術者の手の動きがロボットアームに伝わります。



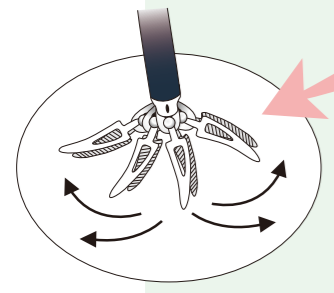
操作台のモニターに映る三次元画像を見ながら後方にあるロボットの操作を行います。



手振れ防止機能を備え繊細な動きを実現



遠隔操作によって動く手術器具（鉗子）



7方向の自由度

結腸の悪性腫瘍切除を手術支援ロボットで

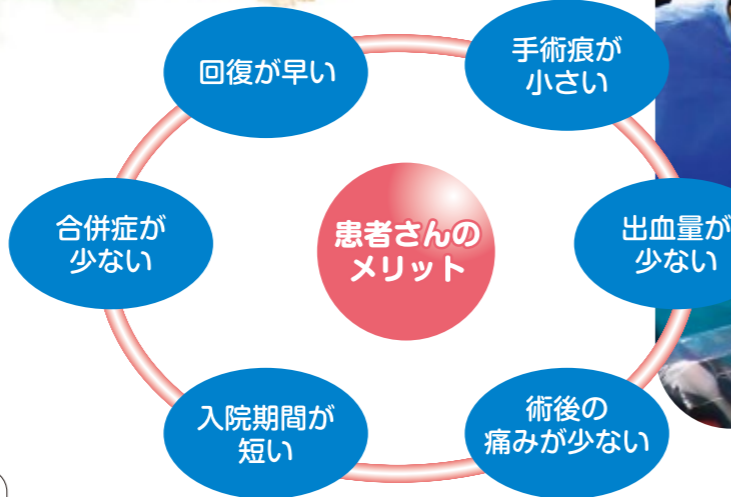
当院では2023年1月より外科・泌尿器科において手術支援ロボット「ダヴィンチ」を活用した手術をスタートしました。日進月歩の医療業界において最先端と言われている医療のうち、治療成績が安定してきている医療を早い段階で導入し、市民の皆さんに貢献できることを日々目指しています。今回は外科で行っている結腸手術についてご紹介いたします。



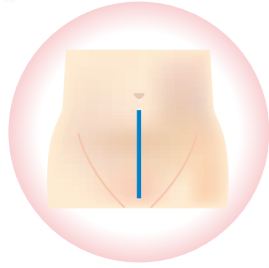
患者さんのメリット

ダヴィンチの手術では、お腹の中を炭酸ガスで膨らませてできたスペースを利用し、腹腔鏡用カメラや器械を挿入して手術します。

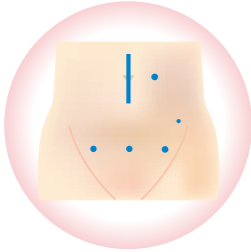
これにより、手術時間の短縮が図られ、傷口も小さく出血量も少なく行うことができるので、患者さんへの負担が軽減され、術後一週間くらいで退院が可能となります。



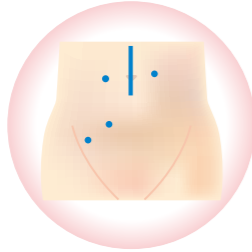
開腹手術箇所



ダヴィンチ手術箇所



盲腸・上行結腸手術



S状結腸手術



がん予防

特にご家族に大腸（結腸、直腸）がんの方がいる場合は、リスクを高める重要な要因となりますので、まずは定期的な検診をおすすめします。

がん全般の予防としては、禁煙、節度のある飲酒、バランスの良い食事、適度な運動が有効とされています。

運動は大腸がんの予防に効果的であると言われています。また、食物繊維やカルシウムの摂取も大腸がんの予防に効果的であるとされています。

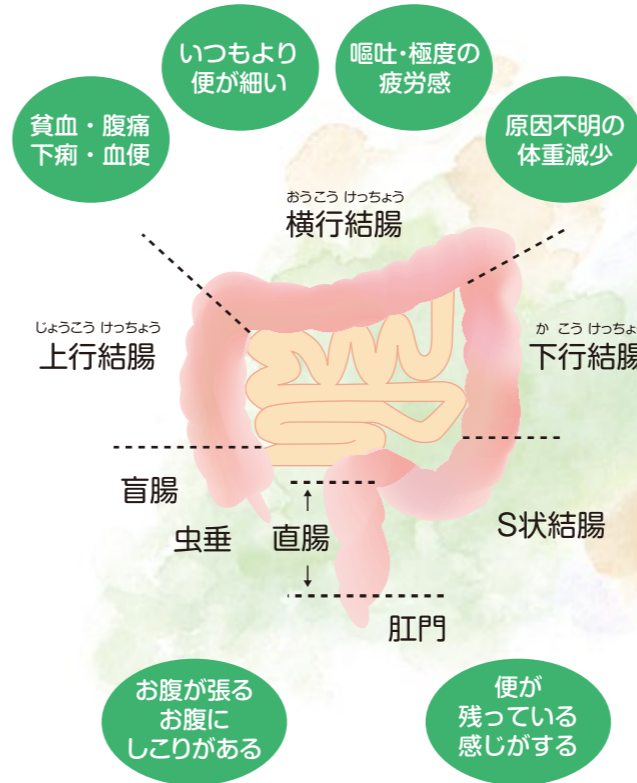
外科副部長 神谷 潤一郎 (手前)

2003年千葉大学医学部卒業後、千葉大学医学部附属病院、成田赤十字病院、さいたま赤十字病院などを経て、2020年4月より現職。

外科 兼 緩和ケア科部長 金子 高明 (奥)

1998年福井大学医学部卒業後、千葉大学医学部附属病院、小田原市立病院、君津中央病院を経て2016年4月より現職。

大腸がん（結腸・直腸）の症状



結腸の悪性腫瘍とは

大腸は食物の通り道で、食道、胃、十二指腸を経て、小腸から続く臓器で結腸と直腸からなります。そのうち結腸に発生するがんのことを結腸がんといいます。結腸がんはさらに発生する部位に応じて、盲腸がん、上行結腸がん、横行結腸がん、下行結腸がん、S状結腸がんに分けられます。結腸がんでは、早期の段階では自覚症状はほとんどなく、進行してから症状が出るものが多くなります。代表的な症状として、便に血が混じる（血便や下血）、便の表面に血液が付着することがあります。

大腸がんは他臓器のがんと比較して急激に増加しております。1975年に大腸がんと診断された方は18,172人、亡くなった方は11,497人でしたが、最近の統計では、診断された方が155,625人（2019年）、亡くなった方が52,418人（2021年）となっていて、亡くなった方は46年間で4.6倍に増加しました。この主な要因として生活習慣の変化：欧米型の食事様式（高脂肪、高たんぱく、低繊維食）、運動不足、肥満、飲酒が挙げられています。

(※1) 動かした手の幅を縮小してロボットアームに伝えるもの



外科部長 兼 医療技術局長 竹内 男

1995年 千葉大学医学部卒業、千葉大学臓器制御外科学（旧第一外科）教室入局。関連病院で前期研修後、千葉大学大学院医学研究博士課程修了。米国テキサス大学医学部留学、千葉大学医学部附属病院助教を経て、2012年12月より現職。

中央手術室 手術をサポートする看護師

当院には手術室が8室あり、一般的な予定手術の他、救急領域や周産期領域での緊急手術に対しても24時間体制で対応しています。また、13の外科系診療科があり260種類以上の術式があります。これら手術に対応するため、中央手術室では教育プ

ログラムを活用して、既存の術式だけでなく日々増えていく新しい治療・術式にも対応できるよう努力を重ねています。さらに、専門的な技術を持つスタッフにより、手術を受けられる患者さんの安全を守り手術への不安に寄り添う看護を実践しています。



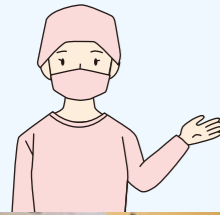
— 中央手術室、麻酔科の皆さん —



奥へと続く通路の両側には手術室があり、扉の一つ向こうでは看護師や臨床工学技士など専門性のあるスタッフと医師が連携し手術を行っています。

■術前説明

手術予定の患者さんには、不安なく手術に向けた準備ができるよう動画でわかりやすく説明しています。



■手術物品準備

手術で使用する器械を2名の看護師で準備し、手術室の環境・物品などを整えます。手術がスムーズに進行できることを念頭に置き、万全な状態で患者さんをお迎えするよう心掛けています。



■手術中

手術中の看護師は、「器械出し」と「外回り」という役割があります。「器械出し」では手術中に医師が必要とする器械を手渡すのが主な役目となり、また、手術の進行を把握して次に必要な器具を予測する能力も求められます。「外回り」では、手術に必要な物品や薬品の受け渡しや手術看護記録の作成などを行っています。



手術中は外回りと器械出しの看護師がペアとなり、手術をサポートしています。

外来を受診される方へ

診療科により、紹介制や予約制を設けておりますので、受診の際は
お電話または診療科のホームページをご覧ください。



※1 以前当院を受診した方でも初診になる場合があります

- ・診療を受けていた病気が治癒した後、新たな病気について診療を受ける場合
- ・予約日に受診せず、任意に診療を中止し、一定期間経過した場合

※2 初診の予約方法

- ・かかりつけ医から紹介状を受け取り、患者さんがお電話で予約をする方法
(お手元に紹介状をご準備ください)
- ・かかりつけ医からFAXで予約をする方法

※3 次の場合は選定療養費のご負担はありません

- ・救急車で当院に搬送された方
- ・生活保護による医療扶助の対象となる方
- ・特定疾患など各種公費負担制度受給対象の方
- ・労働災害・公務災害で受診の方
- ・今回受診する診療科は初めてだが、別の診療科に通院中の方

令和5年
3/27

新しい新生児救急車に入れ変わりました

当院は、周産期母子医療センターとして、多くの新生児患者を搬送し地域の周産期医療に大きく貢献しています。

この車両は、今までの新生児救急車に比べ走行中の振動を抑制することができ、患者さんへの負担を最小限に抑え、より安全に搬送することができます。テスト走行や改良を幾度も重ねて、ようやく完成したオリジナルの一台です。当院では、未来を担う子どもたちの尊い命を救うべく、より多くの子供たちの人命救助や治療に役立てていきます。

